

東西条地域センターだより

第47号

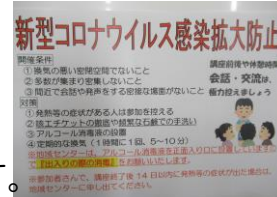
令和2年12月25日発行

東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

まだ誰も 来ぬ玄関の 注連飾 (神尾季羊)

注連縄の「しめ」は、占めるの意で、神が占有している場所を明らかにする縄である。左縷(な)いにこしらえ、7本、5本、3本の順に縄の切り下げを垂らすので「七五三縄」とも書く。切り下げの間には白紙で作った幣(へい)を添える。正月の注連縄は、「年縄」ともいわれる。不浄を避けて蓄えられた新藁で身を清めて縷う。その形状によって牛蒡(ごぼう)注連・大根注連などの名前があり、年棚・神棚をはじめ、台所、玄関などそれぞれにふさわしいものをかけて正月を迎える。(俳句歳時記・角川学芸文庫出版より)

今年は、新型コロナによって、五月には非常事態宣言が発令され、センターの活動は一時中断を余儀なくされ、コロナウイルスに振り回された一年でした。そんな中、生活環境が一変して、特に商売をされている皆様には、大変なご苦労をされました。減速を余儀なくされた経済の立て直しが今後の急務となっています。感染対策と経済対策の両輪という難しい舵取りをしていかななくてはなりません。安心した生活基盤がなければ、学びの意欲はわきません。新型コロナウイルス感染の影響もまだある中、大変なご苦労もあるかと思いますが、希望をもって気を緩めずに頑張ってみましょう。そしていつの日か、存分に学びに専念できる日を待ちながら、来年も引き続き多くの学びを企画運営してまいります。



本年も東西条地域センターをご利用いただき、誠にありがとうございました。

◀ 第30回 東広島市生涯学習フェスティバル ▶

10月31日・11月1日(土・日)東広島市芸術文化ホール「くらら」において活動発表・作品の展示、サンスクエア3階ホールでは、体験活動、また西条中央公園では食べまるシェ、地元食材を使用した食品販売、手しごと市が開催されました。今年度は、新型コロナの影響で「くらら」のほかにも6地域会場を設置し、オンラインで結ぶ講座の閲覧、活動の紹介等が見られ、「新しい生活様式」に沿った新たな学びのスタイルに挑戦された開催となりました。東西条地域センターからは、自主活動講座33団体の紹介をさせていただきました。多くの方々から学んでみたい講座の説明を求められて大変好評でした



(自主活動講座の紹介)

お詫びして、訂正をお願いいたします！

先月発行いたしました「東西条地区住民自治協議会だより・第47号」裏面「東西条アラカルト」記事で下から14行目、蓮生山は蓮華山に、家臣山中八郎は家臣山名八郎に訂正下さい



地域センター事務職員の檜山さん
15年勤続表彰おめでとうございます。(センター長)



東西条地域センター・主催講座は盛況でした！！

- ①12/5(土)「生活に役立つ数学」では、円・楕円そして幾何が生活や色々な現象にも関わっていることがわかり、興味をもって身の回りを見いきたい生活の中に役立てたいという感想を頂きました。
- ②12/10(木)「くらしの筆ペン」では、難しかったが優しく教えて頂いて大変勉強になりました。という参加者の感想を頂きました。
- ③12/12(土)「Hi-Biz入門」では、公的な経営支援拠点「東広島ビジネスサポートセンター」相談までの導線や支援事例紹介をして頂き大変好評でした。
- ④12/19(土)6回連続講座最終日の「東西条郷土の歴史探索」は、丸山神社古墳群を主に助実方面の神社の歴史探索を行いました。広島大学博物館藤野教授から詳しい説明をいただき、こんな素晴らしい古墳群があるとは知らなかったという感想を頂きました。

来年1～2月には、「不思議がいっぱい・科学の扉」「極めよう“いきいき体操ひがしひろしま”」「こころの広場」を予定しています。

多くの方々の参加申し込みをお待ちしています。



「野菜市・地産地ショー」のお礼！

11月24日(火)、東西条地域センター駐車場において吉士実女性会、JA女性部の皆様が大切に育てられた自慢の野菜、果樹や花の即売会が行われました。例年は「東西条まつり」で品評会と即売会を行なっていましたが、今年は、コロナ禍でまつりが中止となり急遽「地産地ショー(消)」を開催されました。珍しい品種のものや、変わった形に育ったものなどもあり、賑やかにすごされ絆が深まり・ほっこりできる時間”を過ごされていました。来年は、東西条まつりでの開催を願います。



「東西条小学校区通学路ゴミ拾い」のお礼！

12月6日(日)9時から10時30分まで、小学校区通学路のゴミ拾いがありました。公衆衛生推進協議会の地区理事である松原様を中心に、自治協環境美化部会の皆様、企画・実践をしてくださいました。受付場所に集めたごみを持参、名前を書かれた方は146名でした。昨年より60名増の方々、またこの方々以外にも地域で草刈りやゴミ拾い等をしてくださった人たちもいらっしゃいました。集まったゴミの量は市の指定のごみ袋25袋、そして燃えないゴミが3袋でした。昨年より13袋少なく、ゴミの量が減っていたのは、常日頃、皆様がゴミを出さないきれいなまちづくりを心掛けて頂いているからだと思えます。参加者は、市指定のごみ袋や軍手をいただいて帰りました。お世話下さいました関係者並びに参加者の皆様、有難うございました。きれいな環境の中では、悪いことが起こりにくいと申します。これからも、明るく住みやすい東西条にするためにも、ゴミを出さない、落ちていたゴミを拾うという習慣を大切にしていまいりましょう。(地域センター長：折羽)

